

すいさん 山形

漁民と手をつなぐ広報誌

No. **341**

平成30年 / **7** 月号

山形県漁業協同組合
広報誌

い
ざ
出
陣



6月6日(水)「いか釣り船団出航式」。今年で12回目を迎えるこの式典は、山形県酒田市がまち一丸となって船団を送り出すという、全国初の試みとしても注目され、今や初夏を告げる風物詩となっています。この日は、平日にも関わらずおおよそ3千人の人出があり、出店や酒田舞妓の演舞、演歌のコンサート等を楽しみながら港に集結した9隻の船団を見送りました。孫の「じいじ！いってらっしゃーい!!」の声援の中、赤や黄色のカラフルなテープを船体に纏い、出航していく「いか釣り船団」の姿は、見る者の胸を熱くさせます。まちのみんなが、航海の安全と大漁を心からお祈りしています。いってらっしゃーい!!

第53回 通常総代会開催



第53回通常総代会は、6月26日(火)午前10時より本所講堂において、総代99名(内8名が委任出席)の出席と多数の来賓の方々また、各関係機関代表者のご臨席のもとに開催されました。

冒頭、本間組合長が挨拶を行い、続いて来賓として吉村美栄子山形県知事(沼澤好徳山形県庄内総合支庁長代読)、丸山至酒田市長、時田博機遊佐町長、宮治仁志農林中央金庫山形支店長がそれぞれ祝辞を述べられました。

次に、加茂地区の板垣貢氏が議長に選出され、第1号議案の平成29年度事業報告及び損失処理案の承認に関する件、第2号議案の平成30年度事業計画の設定に関する件、第3号議案の第6次中期経営計画の設定に関する件から第10号議案の組合員の除名に関する件まで、10議案が審議され、いずれも可決承認されました。

平成29年度の事業概況

本県漁業の状況については、定置網漁業等の一部漁業の水揚げ金額が増加した他は、年間を通して沿岸・沖合漁業ともに水揚げ金額・数量が前年を下回り経済事業全体に大きく影響を及ぼしました。

こうした中で当組合は、将来に向けた漁業生産を担っていく効率的かつ安定的な漁業経営体を育成・確保するため、国の水産施策としての漁船リース事業や機器等導入事業を活用し漁業構造改革に努めたところであります。

また、浜の活力再生プラン・広域浜プランの実践としての、山形市内における産直アンテナショップを拠点とした庄内浜産水産物の

消費拡大活動における販売面については順調に推移し、前年度を上回る実績で終了しております。

平成29年度の当組合の収支については、信用事業をはじめ購買事業・販売事業・製氷事業の経済事業が大幅な減益となり、厳しい状況を反映し事業総利益は大幅に減少し事業損失として残念ながら21百万円、当期損失金として7百万円の前期対比で減収減益となりました。

今後、役職員一致団結して経営改善に努めてまいりますので、組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

① 信用事業

貯金業務については、計画目標を51億円とし、本年度も「全国統一キヤンペーン」等の運動を展開しながら貯金残高の維持・確保を図ってまいりましたが、沿岸漁業の水揚げ不振や国の制度を利用した設備投資に関連する自己資金分の流出も相まって個人貯金の流出に歯止めがかりませんでした。

一方で、関係中央団体からの定期貯金の取組みにより、最終的に年度末残高は52億66百万円、平均残高では52億32百万円となり計画対比103.2%という結果となりました。

貸出業務については、計画目標を7億24百万円とし融資仲長に努めましたが、最終的に年度末残高は5億71百万円となり計画対比79.0%という結果となりました。なお、貯貸率については10.8%となり前年対比1.8%下回りました。

その結果、信用事業総利益は27百万円となり、前年度に対し78.4%の実績率、計画に対しては82.4%の達成率となりました。

② 共済事業

長期共済新規契約高は普通厚生共済「チョコー」が13億19百万円、生活総合共済「くらし」が3億99百万円となり、それぞれ計画を100%、181%の実績を上げることができました。

しかしながら組合員の高齢化等により新規・満期更新が厳しく、主要商品である「チョコー」の保有伸長率は97.7%と低迷しました。また、「くらし」の伸長率は制度改正による契約高が増加し102.0%となっております。

依然として総体的に保有率が減少していること、さらには長期共済について計画達成が年度末に偏ったこと等が影響し、共済事業総利益は12百万円となり、前年度に対し99.7%の実績率、計画に対しては87.7%の達成率となりました。

③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、漁業用は減少しましたが、企業向け及び酒田北港工事船向けの供給が順調に推移し、前年対比119.6%の実績となりました。

軽油については、公共機関への供給が減少したことにより、前年対比66.7%の実績となりました。

白灯油については、主に生協向け供給が減少したことにより、前年対比88.4%の実績となりました。

潤滑油については、前年対比90.1%となりました。

その結果、石油類全体の供給数量は前年対比109.6%の実績となりました。

魚箱類については、原材料の上昇に伴うメーカーからの値上げ要請に対し、粘り強く交渉を続け価格維持に努めました。取扱数量では、鮮魚の漁獲量大幅減により、前年対比

●メインバンクはJFマリンバンクを！

85・7%の実績となりました。
その結果、購買事業総利益は1億68百万円となり、前年度に対し90・2%の実績率、計画に対しては、93・0%の達成率となりました。

④ 販売事業

本年度の本県漁業は、主要漁種であるいか釣漁業が振るわず、小型いか釣漁業については前年対比64%の3億9百万円の水揚げにとどまるとともに、中型いか釣漁業については前年並みの水揚げ数量でありましたが、水揚げ金額では前年対比1億円ほど減の10億51百万円の実績にとどまりました。

地元船における沿岸漁業については、天候不順による出漁不足等により総じて水揚げ不振となり、水揚げ数量で前年対比373トン減の3,253トン、水揚げ金額で前年対比1億39百万円減の17億75百万円にとどまりました。

その結果、本年度総水揚げは31億35百万円となり、当初計画の29億円を上回ることができましたが、本県漁業者にとっては厳しい実績となりました。

買取販売の鮮魚部門での取扱いは、消費拡大のため本県内陸部への販売に注力するとともに、未利用魚・低価格魚の販路拡大・産地価格の底上げに努めました。

船凍いかが主体の冷凍部門では、地元加工業者との取引が増加し、前年対比75百万円増の7億99百万円の買取高となりました。

その他魚価向上に関する取組みでは、春と秋に「庄内浜旬の魚キャンペーン」を本県内陸部の量販店で実施し、庄内浜産水産物の認知度向上と消費拡大に努めました。また、庄内浜産水産物取扱強化と消費拡大に向け、庄内浜魚応援店等に対しIT活用によるタイムリーな水揚げ情報・産地市場情報の提供に努めました。

11月に東京都で開催された2017年度「エス・エグザンプリ」ブランドフィッシュ料理コンテスト」に出店し、庄内浜産水産物の消費拡大に努めました。

以上により、販売事業総利益は1億17百万円となり、前年度に対し73・1%の実績率、計画に対しては81・3%の達成率となりました。

⑤ 製氷冷凍冷蔵事業

小型いか釣漁業への供給は不振を極め前年対比88%の供給数量となりました。また、地元沿岸漁業の底曳網漁業や定置網漁業等への供給は漁場環境の悪化による水揚げ量の減少により伸び悩みました。この結果、供給数量で前年対比85・8%の4万1千本、供給高では前年対比85%の73百万円となりました。

最終的に製氷冷凍事業総利益は26百万円となり、前年度に対し77・3%の実績率、計画に対し79・8%の達成率となりました。

⑥ 加工事業

昨年度に引き続き冷凍スルメイカ

の原料高が影響し、慢性的に消費が鈍化していることから、製品売上及び原料売上ともに下降線を辿り、最終的には前年を9百万円下回る43百万円の実績となりました。

また、加工製品の主軸である学校給食では、加工原料の不漁が影響し欠品となる等の結果を招いており、こうした加工原料不足を背景に販売計画の変更を余儀なくされました。

一方、山形市に出店している「県漁協直営 庄内海丸」の売上は好調であり、月平均3百万円台の売上を維持しており、売上高は前年対比5百万円増の44百万円となりました。

その結果、加工事業総利益は14百万円となり、前年度対比8百万円増(229・1%)の実績率、計画に対し11百万円増(470・3%)の達成率となりました。

⑦ 指導事業

県、沿岸市町の協力を得て、各種種苗中間育成及び稚魚・稚貝の放流を実施し、資源の培養と繁殖保護に努めました(放流尾数 アワビ231,300個、ヒラメ143,400尾、サケ195,600尾)。さらには、放流地付近の禁漁区および保護区域の設定により、放流稚魚の保護を図りました。

「浜の活力再生プラン」および「浜の活力再生広域プラン」を継続的に推進しました。そのうえで、水産業競争力強化型機器等導入事業を積極的に活用し、漁業経営の安定と水産物の安定供給を目指す取り組みを行

いました。また、「浜の担い手漁船リース緊急事業」を積極的に推進し、新船建造・代船購入・機関換装を行うことにより、浜の漁業経営構造の改革に取り組みしました。

大和堆における外国漁船の違法操業について、漁業者とともに水産庁等関係機関との協議を重ね、事態の解決に努めました。また、昨年11月頃から本県にも流れ着いた漂流・漂着木造船について、県・市町と連携し情報収集および提供に努めました。緊迫する北朝鮮のミサイル発射問題について、漁業無線局の電波が届かない海域で操業する漁船との連絡手段の確保のため、県の支援を受けて船舶衛星電話の設置に取組みました。

新規漁業者育成事業関係では、国庫事業による長期研修に独立型3名、雇用型2名が受け入れられました。そのうち4名が就業し、1名は研修を継続中です。



平成29年度 水 揚 表 彰



平成29年度 山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
船凍県内中型船	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
船凍県外中型船	50t以上	第85若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
底曳網ほか	15~20t	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場
	10~15t	萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
		第58海瑞丸	本間昭志 豊浦支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠閣総括支所
	5~10t	第2漁吉丸	阿部清浩 さかた総合市場
		第2千祥丸	佐藤栄一 由良総括支所
はえ縄・一本釣刺網ほか	1~3t	福傳丸	阿部昌樹 さかた総合市場
		海成丸	本間金弥 念珠閣総括支所
		海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
定置網		第8長寿丸	鈴木重作 豊浦支所
		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
採介藻ほか	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所
鮮いか県内船	10~20t	第18陸丸	池田敏行 さかた総合市場
		第58喜久丸	櫻庭斉 福島吉岡漁協
鮮いか県外船	30t未満	第58稲荷丸	国田美保子 大畑町漁協
		第7大鳥丸	(株)大鳥 綾里漁協

平成29年度 酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県内	船凍いか釣	30t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
	底曳網	5t以上	第2漁吉丸	阿部清浩 さかた総合市場
	いか釣	5~30t	第18陸丸	池田敏行 さかた総合市場
		5t未満	第28宝運丸	進藤優一 飛鳥支所
			豊漁丸	讃岐均 さかた総合市場
	地先	3~5t	宝洋丸	進藤十二 さかた総合市場
			金毘羅丸	讃岐利行 飛鳥支所
		3t未満	第5多喜丸	渡部伸二 さかた総合市場
			第3七宝丸	池田富生 飛鳥支所
	磯見		寿和丸	渡部和夫 飛鳥支所

平成29年度 鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
沖合	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
底曳網	10t以上	萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
		第58海瑞丸	本間昭志 豊浦支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠閣総括支所
	5~10t	第2千祥丸	佐藤栄一 由良総括支所
		清徳丸	佐藤清紀 念珠閣総括支所
	5t未満	弥恵丸	佐藤正美 温海出張所
		伝栄丸	齋藤和男 加茂出張所
沿岸	3t未満	海成丸	本間金弥 念珠閣総括支所
		海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
		第8長寿丸	鈴木重作 豊浦支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所

平成29年度 水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県内船	佐藤長悦郎	第38正徳丸
	齋藤春雄	第81金剛丸
	佐藤幸二	第81白山丸
	伊関豊	第18仁豊丸
県外船	本間健	第85若潮丸

理事会情報

平成30年度 第2回 理事会議案
開催日…平成30年6月5日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 平成29年度期末監事監査の報告について
 - 2 定款及び信用事業規程の一部変更について
 - 3 平成29年度貸借対照表・損益計算書及び注記表並びに業務報告書について
 - 4 第53事業年度通常総代会の提出議案について
 - 5 平成30年度事業計画(案)について
 - 6 貸付金の審議について
 - 7 平成30年度資金運用計画(案)について
 - 8 平成30年度栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について
 - 9 平成29年度全漁連期末監査の改善指示書について
 - 10 五十嵐安哉氏の黄綬褒章受章祝賀会について
 - 11 山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議(仮称)への参加について
- 【報告事項】
- 1 平成29年度固定資産減損損失の兆候について
 - 2 平成29年度自己資本比率の状況について
 - 3 組合員の加入・脱退及び減資について
 - 4 我が国水産業の成長産業化に向けた制度・政策改革に係る重点要望並びに我が国水産業の成長産業化に向けた国による革新的な政策の確立の要望について
 - 5 漁業安全情報伝達迅速化事業について
 - 6 その他

● 年金のお受取りは漁協で！

日本漁船保険組合 山形県支所

日本漁船保険組合は設立2年目を迎え、去る6月18日、東京のホテルグランドパレスで通常総代会を開催し、平成29年度事業報告及び決算、平成30年度事業計画及び予算が承認されました。あわせて、任期満了に伴う役員改選も行われました。

日本漁船保険組合の新しい体制と、山形県支所の平成29年度事業概要を以下の通りご報告いたします。

山形県支所は今後もより一層の漁船保険事業の安定と発展、保険サービスの向上を目指して支所の運営を行ってまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表1 普通保険地区別加入実績及び支払実績

支 所 名	在籍漁船	加入漁船	保 険 金 額	純 保 険 料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念 珠 関	163 隻	148 隻	896,610 円	14,367,116 円	20 件	10,580,102 円	73.6 %	13.5 %
温 海	57	57	202,500	3,253,976	9	2,588,883	79.6	15.8
豊 浦	79	74	439,340	7,920,141	7	1,132,184	14.3	9.5
由 良	74	66	357,520	8,523,945	9	5,052,968	59.3	13.6
加 茂	56	47	144,210	2,962,750	5	1,346,081	45.4	10.6
さかた総合	110	101	1,002,460	21,805,279	28	15,337,413	70.3	27.7
吹 浦	50	39	149,800	2,788,850	9	4,451,085	159.6	23.1
飛 島	126	95	345,370	6,793,402	15	1,882,288	27.7	15.8
そ の 他	5	3	1,241,000	3,816,920	0	0	0.0	0.0
合 計	720	630	4,778,810	72,232,379	102	42,371,004	58.7%	16.2%
前 年 同 期	744	646	4,771,540	70,874,602	110	36,968,922	52.2%	17.0%
前年同期比(%)	96.8%	97.5%	100.2%	101.9%	92.7%	114.6%	112.4%	95.2%

* 在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第5ちとせ丸」を含む

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種 類		本年度契約金額		支払保険金		種 類	本年度契約金額		支払保険金	
		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)
漁船船主 責任保険	基本損害	612	313,700,000	1	196,878	漁船乗組船主保険	449	373,000	0	0
	乗客損害	88	33,670,000	1	87,000	漁 船 積 荷 保 険	3	201,000	0	0
	人命損害	69	208,000	0	0	プレジャーボート責任保険	132	16,380,000	2	89,464

日本漁船保険組合 新体制の紹介

○山形県支所総代・運営委員
 総代・運営委員
 伊原 光臣
 飯塚 厚司
 本間 元幸
 佐藤 清八郎
 本間 昭志
 和田 均
 池田 亀五郎
 齋藤 厚
 齋藤 辰幸

○日本漁船保険組合役員
 会長 理事 三宅 哲夫
 副会長 理事 白井 賢志
 副会長 理事 中林 樹
 専務 理事 草野 正
 常務 理事 松田 稔
 常務 理事 本田 直久
 専務 理事 佐藤 信
 常務 理事 濱野 久
 常務 理事 横内 男
 常務 理事 福島 男
 常務 理事 畑中 男
 常務 理事 服部 茂
 常務 理事 平野 仁
 常務 理事 嶋田 彦
 常務 理事 吉川 栄人
 常務 理事 武井 宏夫
 常務 理事 梅崎 大助
 常務 理事 東恩納 義己
 常務 理事 山田 邦雄
 常務 理事 千葉 光悦
 常務 理事 菊池 勝貴
 常務 理事 長岡 英典
 常務 理事 浅田 賢一

水産関係団体 平成29年度 事業の概要

平成29年度
無事故漁船
所有者等表彰

水産庁長官表彰

豊浦支所 第十一仁豊丸
 有限会社 仁三郎

日本漁船保険組合
会長表彰

温海出張所 漁勝丸
 高橋 富雄

温海出張所 弥恵丸
 佐藤 正美

豊浦支所 海運丸
 佐藤 一郎

さかた総合市場 宝洋丸
 進藤 十二

さかた総合市場 第十二斎福丸
 齋藤 公人

さかた総合市場 福傳丸
 阿部 昌樹

吹浦支所 天馬丸
 佐藤 浩毅

●メインバンクはJFマリンバンクを！

全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の平成29年度の水揚げは31億3500万円となり、前年度対比で4億9000万円の減少となりました。主な要因として底曳網漁業をはじめ沿岸漁業が総じて水揚げ不振となり、はえなわ漁業・いか釣り漁業も前年を大きく下回りました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、漁場の急激な変化なども相まって漁業経営を一段と厳しくしております。このような漁業環境にあつて、本年が初年度となる普及推進全国運動「ぎよさいで安心」「ぷらすで万全」をスローガンに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、鶴岡市、遊佐町の小型合併漁業3件の新規加入と、漁獲共済で5件の契約割合引き上げがありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は235件と8件減少となり、共済金額においては前年を若干下回ることとなりました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさいと積立ぷらす」にその役割と期待を更に大きくするものと思われま

す。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

（平成29年度 20都府県事務所別 実績一覧表）

事務所別引受実績

(単位:百万円)

事務所	本年 共済金額	前年 共済金額	増減
秋田県	757	778	△ 21
※ 山形県	2,166	2,214	△ 48
福島県	2,943	2,921	22
茨城県	7,401	7,678	△ 277
東京都・本所	3,004	2,421	583
神奈川県	4,846	4,865	△ 19
静岡県	12,892	12,769	123
新潟県	5,151	4,387	764
福井県	5,679	5,329	350
愛知県	6,324	6,488	△ 164
京都府	3,408	3,311	97
大阪・和歌山	8,680	6,814	1,866
岡山県	2,530	2,352	178
鳥取県	8,727	8,538	189
島根県	11,497	10,959	538
山口県	6,675	6,441	234
高知県	18,573	16,315	2,258
大分県	16,798	14,777	2,021
沖縄県	5,032	4,402	630
合 計	133,083	123,759	9,324

事務所別支払実績

(単位:百万円)

事務所	本年 共済金	前年 共済金	増減
秋田県	21	31	△ 10
※ 山形県	82	40	42
福島県	173	64	109
茨城県	179	77	102
東京都・本所	40	8	32
神奈川県	134	108	26
静岡県	619	93	526
新潟県	116	91	25
福井県	33	18	15
愛知県	258	238	20
京都府	75	76	△ 1
大阪・和歌山	394	43	351
岡山県	79	91	△ 12
鳥取県	112	107	5
島根県	77	150	△ 73
山口県	109	106	3
高知県	133	231	△ 98
大分県	928	139	789
沖縄県	72	79	△ 7
合 計	3,634	1,790	1,844

積立ぷらす

(単位:千円)

事務所	漁業者 積立額	払戻 補填金
秋田県	21,610	24,840
※ 山形県	46,000	69,000
福島県	159,500	96,600
茨城県	340,370	417,720
東京都・本所	224,750	238,360
神奈川県	279,670	298,360
静岡県	748,490	1,306,880
新潟県	220,700	380,280
福井県	184,890	62,320
愛知県	294,100	373,960
京都府	150,780	292,520
大阪・和歌山	280,090	111,000
岡山県	115,970	186,240
鳥取県	355,120	69,240
島根県	438,890	396,760
山口県	208,340	220,200
高知県	373,300	491,440
大分県	605,780	78,360
沖縄県	116,640	86,720
合 計	5,164,990	5,200,800

ぎよさい加入で
安心経営



つなぐちゃん

平成30年度 漁業共済優績者表彰

☆水産庁長官賞《7年間無事故者》
北斗丸

☆高橋 正博 殿（吹浦）
漁済連会長賞《5年間無事故者》
第81金剛丸

株式会社 マルニチ商事 殿（本所）
第81白山丸

有限会社 白山丸水産 殿（本所）
第38正徳丸

佐藤 長悦郎 殿（本所）
三和丸

飯塚 厚司 殿（念珠関）
北洋丸

佐藤 勝則 殿（念珠関）
昭豊丸

本間 正徳 殿（念珠関）
永伸丸

本保 憲二 殿（念珠関）
第三栄祥丸

土門 拓也 殿（吹浦）
第二勝栄丸

佐藤 勝廣 殿（吹浦）
海幸丸

五十嵐 敏彦 殿（酒田）

● 公共料金の口座振替は漁協で！

JF 共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 平成29年度加入状況 (単位：件、万円)

共 済 種 類			実 績		保 有	
			件数	共済金額	件数	共済金額
長期共済	チョコー	新 規	146	134,510	1,203	776,950
		純新規		100,010	—	—
	く ら し		25	40,400	232	265,650
	年 金	新 規	9	58	464	2,528
		増 額	19	28		
短期	ノリコー		293	104,800	—	—
	カ サ イ		422	642,089	—	—

☆平成29年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)		
満期・給付金	104 件	17,424 万円
死 亡	6	3,411
入院・通院他	123	1,222
計	233	22,057

生活総合共済 (くらし)		
満期	19 件	1,750 万円
事故	8	193
計	27	1,943

漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)		
年金	242 件	3,045 万円
死亡	0	0
計	242	3,045

乗組員厚生共済 (ノリコー)		
満期	1 件	105 万円
事故	2	3
計	3	108

火災共済 (カサイ)	
3 件	298 万円

団体信用厚生共済 (ダンシン)	
0 件	0 万円

JF共済は「一人ひとりの笑顔のために」協同の原点 JF共済3か年計画(平成二十九年度～三十一年度)の初年度として、JF共済の理念である「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」という全体目標を掲げ取り組んで参りました。

本県JF共済推進本部は「協同の原点 新3か年ス

タートダッシュキャンペーン」と銘を打ち、共済事業におけるコンプライアンスと普及推進並びに、業務研修実施等により体制強化に努め、「提案型推進の促進」「恒常・集中推進への支援」「担当者研修・広報活動の強化」など重要諸施策を積極的に実施致しました。あわせて東北6県合同による「見直そう浜の保障! 広め

ようJF共済! キャンペーン!」も行ない、事業量目標の早期達成に向けたチョコーキャンペーンを展開致しました。

JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は、純新規目標達成には至りませんでした。一定の成果を挙げることが出来ました。一方、建物共済「くらし」は新規補償目標を達成する

ことが出来ました。

厳しい漁業・事業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、組合員・地域住民の多様なニーズや信頼にお応え出来るよう、「ふれあい型」推進に努めて参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「JF共済3か年計画」
運動スローガン
(平成29～31年度)



「一人ひとりの笑顔のために
…協同の原点」

浜に笑顔の見張り番

がんばろう漁村 浜の応援団

今こそ示そう「浜の底力」

● 年金のお受取りは漁協で!

山形県漁業信用基金協会

(1) 会員と出資金

会員数は、前年度末より3名減少し、本年度末会員数は66名であります。

また、出資金については、前年度末より700千円減少し、本年度末出資総額は666,600千円であります。

(2) 保証業務

年間保証額は、19件143,360千円（うち漁協生活ローン6件5,420千円）となり、その結果、本年度末保証残高は144件500,906千円となりました。前年度末対比では、件数では10件、保証残高では1,080千円減少しております。

なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりです。

(3) 代位弁済と求償権

代位弁済事故防止に努めた結果、本年度は発生しませんでした。

一方、回収にあたっては、極めて厳しい情勢の中で積極的な回収努力と支払協力による回収で6,665千円（目途額6,645千円、達成率100%）の回収を図ることができました。その結果、本年度末求償権残高は、17名142件1,247,486千円となりました。

今後とも、債務者ならびに関係機関のご協力をいただきな

がら回収を図りたいと考えております。

(4) 収支

収入については、金融市場を取り巻く環境は依然厳しい中、基金等の運用資金を有効活用し、運用益の確保に努めた結果、収益合計18,569千円となりました。

一方、支出については、費用合計16,322千円となり、これにより、本年度末当期利益金2,247千円計上する結果となり、本年度末をもって繰越欠損金は解消することとなりました。

今後も経営改善計画に沿って事業を展開し、経費削減を行い、関係機関と協議しながら、漁業金融の円滑化を促進するとともに、保証基盤の強化を図り、中小漁業者の経営の改善と安定化に寄与できるよう努めて参りたいと考えております。

(5) 役員の異動

就任（平成30年6月26日）

理事長 沼澤 弘幸 代表監事 高橋 和博

退任（平成30年3月31日）

理事長 木村 和浩 代表監事 渡邊 雅彦

（金額単位：千円）

区 分		前年度末保証残高		保 証 額		償 還 額		代 弁 額		本年度末保証残高	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
近代化資金		46	341,997	9	129,140	2	88,590	0	0	53	382,547
一般資金	金 融 公 庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般 緊 急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借 替 緊 急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他一般資金	108	159,989	10	14,220	27	55,850	0	0	91	118,359
	小 計	108	159,989	10	14,220	27	55,850	0	0	91	118,359
計		154	501,986	19	143,360	29	144,440	0	0	144	500,906



加茂地区油戸で「魚の森づくり活動」が7月7日(土)開催されました。この活動は平成9年から開始され、現在まで海岸沿いの約1.6haの丘陵地にクロマツやカシワなど約3000本を植樹、魚を育むきれいな海になるようにとボランティアの皆さんが活動を続けています。

数日前より天候が悪く開催が心配でしたが、多少の雨なら決行！という事務局の強い意志が通じたのか、やがて雨は止み、涼しい中で作業ができました。漁協女性部を始め、地元漁業者等総勢72名が参加し、植栽班、草刈班、つる切り班に分かれて山の手入れを行いました。皆さん手慣れたもので、長い鎌で腰まである雑草を刈ると、みるみる山がきれいになり、終了の声がかかった後も「この木の下、もうちょっと！」と熱心な参加者の姿に、さすが浜のかあちゃん！と感心する場面もありました。今回は、新たにカシワとアキグミ計42本が捕植され、成長が楽しみになりました。その後は、ヒラメ稚魚700尾を放流、解散となりました。

「ヒラメさん、大きくなって戻ってこいのー」

● メインバンクはJFマリンバンクを！

平成30年7月チョコー大改正！ 新チョコーが安心を お届けします！

ここが変わるよ
新チョコー！



がん治療に専念できます！



がん入院・退院後の通院保障※
の通算支払日数が無制限に
なりました。※一回の通院について、退院後200日
以内の通院に限ります。

女性を手厚く保障！

乳がん、子宮筋腫、関節リウマチ
などの病気を上積み保障する、女性
疾病入院特約を新設しました。



医療
保障編

シニアの医療保障を手厚く！



入院保障日額の最高限度額を
拡大し、61歳から75歳までの
方でも1万円まで加入できます。

ギプス保障を拡大！

アキレス腱・靱帯の損傷に
よるギプス固定期間を新た
に支払対象に加えました。



海難事故等の保障を充実！



海難特別給付金・交通事故割
増給付金を従来の3倍に引
き上げました。※災害死亡割増特約を
付加した場合に限ります。

大きな保障をお手ごろに！

終身共済50型、養老共済100型を
新設し、働き盛りの時期に、掛金を
抑えて保障を大きくできます。



万一の
保障編

お孫さまへの教育資金に！



お孫さまへの教育資金造成
などのために、一時払こども
共済を新設しました。

健康に不安のある方に朗報！

特別養老共済の加入年齢を
拡大し、18歳から85歳まで
加入可能になりました。



— これら以外にも新しくなった保障があります。詳しくはJF(漁協)にお問い合わせください —

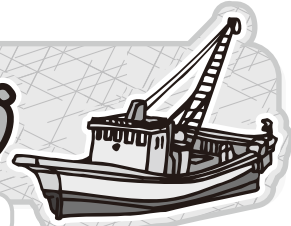


浜に笑顔の見張り番
JF共済

● 公共料金の口座振替は漁協で！



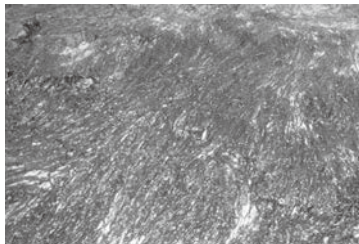
何でも魚^{うお}ツチング



イワノリ増殖場の掃除はなぜ必要？

7月に入り、暑い日が続いています。皆様元気でお過ごしでしょうか。今回のお題はイワノリです。イワノリと言えは皆様ご存知のとおり冬の食材ですが、冬の収穫に向けて大事な時期になるのが夏から秋のため、このようなお題にしました。

このイワノリ、寒鰯汁等にかかせない食材ですが、我が櫻井家では、イワノリはおひたしや、お雑煮によく同居しております。小波渡出身だった祖母の影響か、我が家の正月のお雑煮は芋茎とイワノリというシンプルなもの、正月にイワノリはかせません。さて、櫻井家の食文化は置いておいて、皆様イワノリについてどこまで知っていますか？



増殖場のイワノリ



イワノリ入り寒鰯汁

●イワノリってそもそも何？

庄内地方でイワノリと呼ばれている海藻は、標準和名(図鑑に載っている名前)を「ウツプルイノリ」といいます。皆様の前にお目見えする時期は主に12月、2月で、気の早い奴は11月半ばくらいか

ら出てくることもあります。そして2月に入ると色が変わってきて、流出または枯れてしまいます。

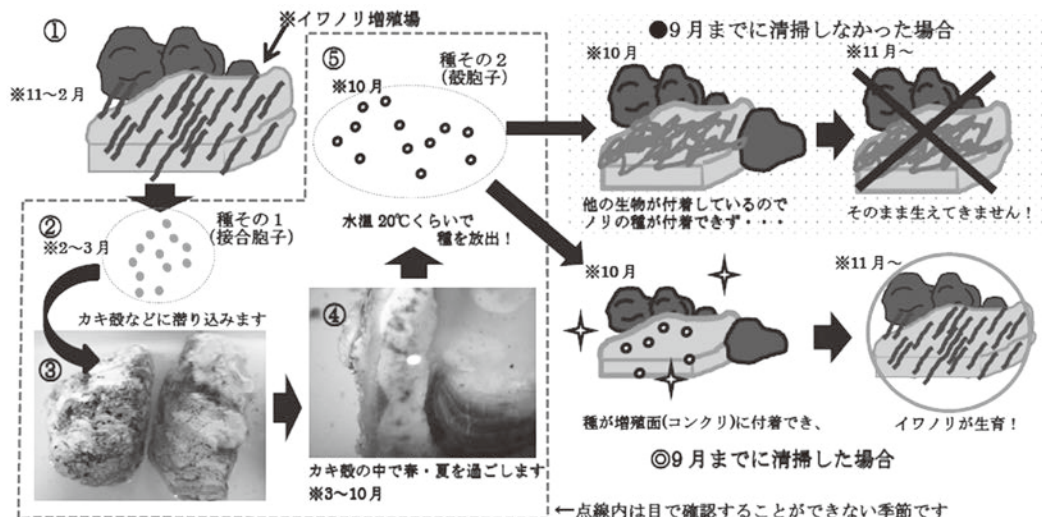
●イワノリは種(胞子)を2回出します！

ノリの色が変わっていく時が胞子を出している時期(1回目、2月〜3月)で、次の世代にバトンタッチします。しかし、次の冬までの時期は見かけることがありません。いったいどこに行っただけなのでしょう。実は、ノリを見かけることのない春から秋にかけては非常に小さい状態で、目ではよく見えません。この時期の姿を糸状体と言い、カキ殻の中などに潜り込んで夏休みを過ごしております。この糸状体が、水温が20℃くらいになると秋に胞子を出し(2回目、9月〜10月)、その胞子が付着して生長するとイワノリになるわけです。

●イワノリ増殖場の掃除の時期は？

1回目の胞子は前述の糸状体になるので、気にしなくても大丈夫です。しかし、2回目の胞子については、付着した後に漁獲物であるイワノリになります。そのため、増殖場など、生えて欲しいところが汚れている、またはほかの生物や藻類が先着した状態だと、胞子が付着できない、または付着しても大きくなれないことになり、なんだか今年は生えてこない、となってしまうわけです。

つまり、9月から10月にかけての、2回目のイワノリ胞子が出てくる前に掃除が必要になります。8月の下旬から9月



の早めが適期で、遅くとも9月中旬に掃除することが好ましいでしょう。増殖面の掃除は大変なものでありますが、畑を耕すのと同じ、と考えて頂ければ幸いです。

山形県水産試験場 浅海増殖部

研究員 櫻井 克聡

● 年金のお受取りは漁協で！

水 揚 情 報

平成30年 6 月30日現在

(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
5 月末迄水揚累計		275,242	11,982	8,256	73,803	31,878	44,026	27,433	7,846	70,018
月間水揚	県内船水揚	143,916	8,312	6,915	31,396	14,346	26,281	14,989	2,265	39,412
	県外船水揚	109,490	0	0	89,607	0	1,137	0	0	18,746
	合 計	253,406	8,312	6,915	121,003	14,346	27,418	14,989	2,265	58,158
前 年 同 月 水 揚		210,543	9,542	10,815	74,914	15,104	25,609	16,823	6,344	51,392
本年度水揚	県内船水揚	386,125	20,294	15,171	78,880	46,224	70,307	42,422	10,111	102,716
	県外船水揚	142,523	0	0	115,926	0	1,137	0	0	25,460
	合 計	528,648	20,294	15,171	194,806	46,224	71,444	42,422	10,111	128,176
前 年 度 水 揚 累 計		533,766	24,870	21,451	158,560	43,219	82,818	56,259	15,328	131,261
増 減		-5,118	-4,576	-6,280	36,246	3,005	-11,374	-13,837	-5,217	-3,085

今あがっている魚

－ 6月のベストテン －

前年対比 増 ↗ 減 ↘ 変らず →

水 揚 金 額 (千円)					漁 獲 量 (kg)				
1	するめいか	127,998	↗		1	するめいか	240,943	↗	
2	た い	19,871	↘		2	べにずわい	57,210	↗	
3	ほっこくあかえび	16,507	↗		3	た い	34,953	↗	
4	口 細	8,850	↗		4	ぶり・いなだ	20,146	↘	
5	べにずわい	8,009	↗		5	ほっこくあかえび	18,913	↗	
6	も ず く	7,332	↗		6	た ら	14,803	↗	
7	か き 貝	5,831	↗		7	あ じ	13,800	↘	
8	ぶり・いなだ	4,077	↘		8	口 細	10,270	↗	
9	あ じ	3,346	↗		9	ほ っ け	9,283	↗	
10	ひ ら め	3,045	↘		10	か き 貝	6,737	↗	
				月間MVP					月間MVP

日本船保険組合山形県支所主任 菅原 達矢

◆ すいさん山形は、今後とも充実した庄内浜の情報誌づくりに努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

◆ 今年も早いもので半年が過ぎました。七月は年初に立てた目標の進捗状況を見つめ直すいい機会なのではないでしょうか。既に目標を達成した人、目標半ばの人、さまだまだと思います。目標半ばの人は、過去の自分自身の行動を客観的に見て、修正が必要なのところは修正を行い、年末に良い一年だったと言えるよう、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

◆ 日本中を沸かせたワールドカップも終わり、このニュースが皆様のお手元に届く頃には、暑い夏の真っ只中かもしれません。世界最高レベルのプロフェッショナルなプレーに誰しもが魅了されたワールドカップでしたが、いろいろな国のそれぞれ独特なカラーをもつチームの対戦を観て、選手個人の才能だけでなく、組織としての戦術の大切さも痛感しました。そして、プロフェッショナルな個々のプレースタイルと組織としてのチームプレーのスタイルに、各国の文化や風土、歴史、民族性などが表れているところも大変面白く観ることができました。日本代表の活躍も、大変素晴らしいものでした。決勝トーナメント進出は、二百億円超の経済効果があるそう、日本経済にとっても追い風が吹いたことと思います。サービスの向上、経済の活性化により、景気が上向きになることを願っています。



● メインバンクはJFマリンバンクを！



五十嵐安哉氏黄綬褒章受章

山形県漁業協同組合の前代表理事組合長 五十嵐安哉氏が、平成30年春の褒章伝達式で黄綬褒章を受章されました。褒章伝達式は、農林水産省講堂にて5月15日に行われ、磯崎陽輔農林水産副大臣から褒章と章記が手渡されました。その後、皇居にて天皇陛下に拝謁されました。

五十嵐安哉氏は、昭和35年より家業の漁業に従事し小型底曳網漁業を経営。平成12年には、山形県機船底曳網漁業協議会長に就任し、平成15年に発生した韓国籍貨物船沈下コンテナの撤去について、沿岸市町及び山形県、更には国までも動かしコンテナ撤去を実現させた功績は大なるものがあります。平成17年には、山形県水難救済会長、同年、山形県漁業協同組合理事としてその任にあたり、平成20年には代表理事組合長に就任、3期を努め平成29年に退任。その間、全国組織団体の要職も務めるなど本県水産業の振興、発展に貢献されました。

平成28年度にはその功績が評価され、山形県水産業賞を受章。また、代表理事組合長として協同運動の推進、発展に貢献した功績が評価され同年度に漁協運動功労者表彰も受賞されております。

心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

庄内浜 春の旬の魚 キャンペーン

5月14日～6月30日まで山形市で『庄内浜春の旬の魚キャンペーン』が開催されました。

山形県の内陸地域で庄内浜産の水産物の消費を拡大することを目的として、流通の強化やPR活動が行われました。

今回のキャンペーンの応援店である庄内浜産の水産物を取り扱う飲食店や量販店の協力を得て、消費者へ庄内浜の魚の魅力を伝えることができたと感じております。

キャンペーン期間中、山形市の生協3店舗に応援させて頂いた時は、開店に合わせて多くのお客様にマダイやアジなどをお買い求め頂きました。お客様の中には、「もともと庄内に住んでいたため、今回のキャンペーンで庄内の魚を食べることができて嬉しい。」との声がありました。

販売企画課 佐藤 真生



広報誌

すいさん山形

341/平成30年7月号

編集・発行／山形県漁業協同組合 酒田市船場町二丁目2番1号
代表理事組合長 本 間 昭 志

☎ 0234-24-5611 FAX 0234-22-6455
<http://www.kengyokyo.or.jp/>